

高鍋町美術館開館3周年記念特別展

棟方志功展

—大原美術館所蔵品にみる—



5月躍鯉の柵

高鍋町美術館

棟方志功は1903（明治36）年、青森県青森市に生まれました。

十代でゴッホの絵と人生に強くひかれ、画家になること決心し上京。

1925（大正14）年には油絵が白日会に入選。1928（昭和3）年、平塚運一のもとで版画を学び、版画家として出発します。1938年、「善知鳥版画巻」で帝展特選。このころには、すでに棟方は自らのスタイルを確立していました。

1936（昭和11）年からは柳宗悦、河井寛次郎ら民芸活動の仲間たちと交流。こうした人達からも大きな影響を受けています。戦後、海外での国際展にも出品し、やがてサンパウロ、ベネチアの両国祭展で受賞し、その評価は世界的なものになりました。



略年譜

- 1903年 青森市大町に生まれる。家業は刃物鍛冶屋。
- 1920年 青森地方裁判所の弁護士控所給仕になる。
- 1921年 ゴッホに心惹かれ、画家を決心。
- 1924年 上京。
- 1928年 平塚運一を訪れ、版画の道に入る。
- 1936年 第11回国画会展に「大和し美し」を出品。
- 1938年 第2回新文展に版画「善知鳥」を出品し特選。
- 1942年 このころから自作の版画を「板画」と題する。
- 1951年 「美尼羅半頭板画柵」制作。
- 1952年 スイスのルガノ国際版画展で日本人初の優秀賞を受ける。
- 1955年 サンパウロ・ビエンナーレ展にて版画部門最高賞を受賞。
- 1956年 ヴェネチア・ビエンナーレ展で国際版画大賞を受ける。
- 1960年 このころから左眼失明。
- 1969年 青森市名誉市民第1号として称号をうける。
- 1970年 文化勲章を受章。
- 1974年 鎌倉市に棟方板画館開館（志功71歳の誕生日）。
- 1975年 肝臓癌のため自宅にて死去。

作 品 リ ス ト

番号	作 品 名	制作年
1	善知鳥板画柵	1938
2	大和し美し板画柵	1936
3	門舞神板画柵	1941
4	美尼羅牟頌板画柵（4点一組）	1951
5	いろは板画柵	1952
6	四神板画柵	1951
7	道祖土頌板画柵	1952
8	流離抄板画柵（獅子窟の柵）	1953
9	流離抄板画柵（哀色の柵）	1953
10	流離抄板画柵（かにかくにの柵）	1953
11	流離抄板画柵（角屋の柵）	1953
12	流離抄板画柵（深々の柵）	1953
13	烏兎頌板画柵	1953
14	華狩頌板画柵	1954
15	鷹持妃板画柵	1955
16	茶韻十二か月板画柵（2月蘭如の柵）	1956
17	茶韻十二か月板画柵（5月躍鯉の柵）	1956
18	茶韻十二か月板画柵（9月秋径の柵）	1956
19	茶韻十二か月板画柵（10月美誕の柵）	1956
20	茶韻十二か月板画柵（12月基督の柵）	1956
21	歌々板画柵（花見の柵）	1956
22	歌々板画柵（団欒の柵）	1956
23	歌々板画柵（夕涼の柵）	1956

番号	作 品 名	制作年
24	歌々板画柵（聞虫の柵）	1956
25	歌々板画柵（憂世の柵）	1956
26	鼓笛の図板画柵	1957
27	心偈より「今ヨリナキニ…」	1958
28	心偈より「泉タバシル…」	1958
29	心偈より「見テ知リソ…」	1958
30	心偈より「ナドテユタケシ…」	1958
31	心偈より「秋サブ…」	1958
32	大原寿恵子歌集抄（日まわりの花の柵）	1962
33	大原寿恵子歌集抄（酒津鉢の柵）	1962
34	大原寿恵子歌集抄（山松静の柵）	1962
35	大原寿恵子歌集抄（幾山河の柵）	1962
36	大原寿恵子歌集抄（庭老松の柵）	1962
37	東海道五十三次板画柵（原）	1964
38	東海道五十三次板画柵（名古屋）	1964
39	東海道五十三次板画柵（草津）	1964
40	東海道五十三次板画柵（京都）	1964
41	東海道五十三次板画柵（守口）	1964
42	書「華嚴」	1956
43	屏風「御群鯉図」	1943
44	屏風「連々山図」	1942